

事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称	施策Ⅱ－2－5 生活衛生の充実
---------	--------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業の名称	動物管理対策事業
目的	(1) 対象 県民（特に動物飼育者）
	(2) 意図 動物愛護思想、適正飼養の定着を図り、動物による環境侵害等の発生を防止する
事業概要	

・動物保護管理等対策事業：動物による環境侵害等の改善を図るため、犬猫の引き取り・処分、不適正飼養者の指導、動物取扱施設等の監視・指導・許可を行う。
 ・動物愛護推進事業：動物愛護思想、適正飼養の定着を図るため、住民に対し、広報、講演会、講習会、譲渡会の開催等を行う。
 ・狂犬病予防対策事業：狂犬病のまん延防止を図るために、犬の登録、狂犬病予防注射及び適正飼育について普及啓発する。
 ・化製場等対策事業：環境汚染の防止を図るために、化製場等に対し、法に基づき監視・指導を行う。

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1 指標名	犬・ねこ引取り頭数	目標値		1,000.0	1,000.0	900.0	900.0	頭
		取組目標値						
2 式・定義	犬・ねこ引取り頭数	実績値	947.0					%
		達成率	—	—	—	—	—	
2 指標名		目標値						
		取組目標値						
2 式・定義		実績値						%
		達成率	—	—	—	—	—	

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画	前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
事業費(b)（千円）	27,418	27,473		
うち一般財源（千円）	26,618	26,612		

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・引取りの内訳は、犬165頭、猫782匹であり、依然として猫の引き取りが多い状況である。また、平成27年度の引取りは、犬119頭、猫488匹の減少となつた。 H17: 4,636 H18: 4,181 H19: 3,209 H20: 2,868 H21: 2,564 H22: 2,554 H23: 2,129 H24: 2,261 H25: 1,766 H26: 1,554 H27: 947

6. 成果があつたこと（改善されたこと）

・平成27年度の引取りは、947まで減少し目標値の1,750を大きく下回り、各種の取り組みの成果が見られる。	①困っている「状況」 ・猫の引き取りが多い	②困っている状況が発生している「原因」 ・飼い主がいない猫の増加	③原因を解消するための「課題」 ・平成24年度から、出雲保健所敷地内に設置した動物愛護棟で、TNR事業（猫の保護、避妊・去勢、保護した場所に戻す）に取り組んでいるが、引き続き実施する必要がある。
--	--------------------------	-------------------------------------	--

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・犬猫の引取処分数を減少するためには、飼い主のいない猫対策、子猫対策が重要であり、直ちに効果は現れないが、市町村、動物愛護団体等の協力を得て、飼い主のいない猫対策事業を引き続き実施する必要がある。
--

9. 追加評価（任意記載）

（課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。 上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があつたこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があつたこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。
